

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年 7 月 3 日

【会社名】 株式会社モスフードサービス

【英訳名】 MOS FOOD SERVICES, INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中村 栄輔

【本店の所在の場所】 東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号

【電話番号】 (03)5487 - 7371

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 兼 経営企画部長 早田 正一

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号

【電話番号】 (03)5487 - 7371

【事務連絡者氏名】 執行役員 経営企画本部長 兼 経営企画部長 早田 正一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

## 1【提出理由】

当社は、2026年6月24日開催の当社取締役会に基づく決定により、2026年6月30日付で、株式会社ビー・ワイ・オーの株式を取得し子会社化することを決定し、同日株式譲渡契約を締結いたしました。本件株式取得は、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### 1. 子会社の取得に関する事項(企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第8号の2に基づく報告内容)

#### (1) 取得対象子会社に関する事項

(1) 名称	株式会社ビー・ワイ・オー		
(2) 所在地	東京都豊島区西池袋3丁目1番15号 西池袋TSビル5階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中野 耕志		
(4) 事業内容	飲食店舗の経営		
(5) 資本金	49百万円		
(6) 設立年月日	2015年7月27日		
(7) 大株主及び持株比率	WIN1号投資事業有限責任組合15.07% WIN3号投資事業有限責任組合9.36% WIN戦略投資1号投資事業有限責任組合6.93% クリアシオン・ホールディングス株式会社4.62% WINプリンシパル投資事業組合4.33% 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社25.00% 他 個人株主6名及び法人株主10社及びビー・ワイ・オー社従業員持株会		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当該事項はありません	
	人的関係	当該事項はありません	
	取引関係	当該事項はありません	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
連結純資産	2,723百万円	2,881百万円	3,301百万円
連結総資産	9,611百万円	9,254百万円	10,311百万円
1株当たり連結純資産	255.3円	270.1円	309.5円
連結売上高	14,891百万円	16,464百万円	18,380百万円
連結営業利益	423百万円	546百万円	534百万円
連結経常利益	382百万円	482百万円	484百万円
連結当期純利益	341百万円	163百万円	411百万円
連結調整後EBITDA	1,023百万円	1,150百万円	1,268百万円
1株当たり連結当期純利益	32.0円	15.3円	38.6円

連結調整後EBITDAは、ビー・ワイ・オー社に対するデュー・ディリジェンス等の調査の結果を踏まえ、IPO準備費用や一過性損益等を調整して算出した参考値です。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、主力事業であるハンバーガー専門店「モスバーガー」のフランチャイズチェーン（FC）展開を中核として、国内外において多様な飲食事業を展開してまいりました。加えて、2025年5月15日に公表した2025年度～2027年度中期経営計画においては、既存事業の着実な成長に加え、M&Aや業務提携を通じた国内外外食ポートフォリオの拡充を、持続的な成長を実現するための重要な戦略の一つとして位置付けております。

ビー・ワイ・オー社は、「和食・酒 えん」、「おぼんdeごはん」及び「だし茶漬け+肉うどん えん」等のブランドを展開し、和食を軸とした外食事業を営んでおります。各ブランドにおいて、それぞれ異なる顧客ニーズや利用シーンに対応した店舗展開を行っており、商品力、店舗運営力及びサービス品質を強みとして、安定した顧客支持を獲得しております。また、台湾における事業基盤や食品・食材に関する知見も有しており、国内外において和食業態の運営実績を有しております。

本件取引により、当社が有するFC運営力、店舗開発力、物流・調達機能、海外事業基盤等と、ビー・ワイ・オー社が有する和食業態のブランド力、店舗運営ノウハウ及び台湾事業基盤等を組み合わせることで、事業基盤の強化とシナジー創出が期待できると考えております。具体的には、新規出店及びFC展開の加速、共同販促・共同調達やサプライチェーン最適化による収益力向上、海外展開機会の拡大等を見込んでおります。当社は、これらを通じて持続的成長及び中長期的な企業価値向上を目指してまいります。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

株式会社ビー・ワイ・オーの普通株式の取得価額（概算）：11,197百万円

以 上